

2023

vol. 305

1

大田区を元気にする産業情報誌

令和5年1月15日発行
(隔月1回発行)

テクノプラザ

発行 / (公財)大田区産業振興協会
〒144-0035 大田区南蒲田 1-20-20
TEL : 03-3733-6476
FAX : 03-3733-6459
E-mail : technoplaza@pio-ota.jp
URL : <https://www.pio-ota.jp>



2023 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

産業者の皆様におかれましては、おだやかな新年をお迎えのことと存じます。

さて、3年にも及ぶコロナ禍により収束への兆しが見え、いよいよ経済再活性化への期待が高まりつつあります。

大田区産業振興協会は、この間、経済・社会活動の急速な変化を的確に捉え、デジタル技術を活用したビジネスモデルへのシフトを目指して区内産業者との強固なネットワークを築き、競争力の強化と成長分野への支援を図ってまいりました。

本年は、大田区が成長の要と位置づける羽田イノベーションシティがグランドオープン。空港の隣というアドバンテージを如何なく発揮することで、様々な交流を新たなイノベーションへと昇華させていく計画でおります。このほか、デジタル技術を活用した「仲間回し」を構築、これを軌道に乗せることでビジネスチャンスを見逃さない取組を推進してまいります。

結びに、卯年がまさにジャンプアップの年となりますよう、当協会職員一同、あらゆる連携を図り産業者の皆様を全力で応援していく決意です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

令和5年1月吉日

公益財団法人大田区産業振興協会

理事長 川野 正博

特集 新春座談会 大田区製造業の DX化に向けた 取組



特集 新春座談会

令和5年が明けました。製造業においてはIT化で業務の効率化や生産性向上を図るだけでなく、データとデジタル技術を活用してビジネスモデルそのものを変革し、競争上の優位性を確立するDX(デジタルトランスフォーメーション)の重要性がテーマとなっています。すでに様々なツールを活用してデジタル化を推進し、DXを目指されている方々にお集まりいただき、それぞれの取り組みについて語っていただきました。



出席者

● 広瀬 安宏

株式会社伊和起ゲージ 代表取締役
一般社団法人大田工業連合会 会長



● 國廣 愛彦

I-OTA合同会社 代表社員
株式会社フルハートジャパン代表取締役



● 波田野 哲二

ハタノ製作所 代表



● 尾針 徹治

ムソー工業株式会社代表取締役



● 荒井 大悟(司会)

大田区産業経済部
産業調整担当課長

大田区製造業のDX化に向けた取り組み

● **司会** はじめに、皆さまの会社の紹介と、デジタル化への取り組みをお聞かせください。

化目的だけでなく、その先の付加価値を含めて活用しなくてはならないツールだと考えて取り組んでいます。

大田工業連合会(以下、工連)では、色々な活動の中で特に情報セキュリティの周知活動に力を入れているところです。



(司会) 荒井 大悟氏
大田区産業経済部



波田野 哲二氏
ハタノ製作所

● **尾針さん** 今から72年前、武蔵工業大学を出発点に大学発ベンチャーとして誕生して以来、研究者様や大学向けに材料評価に必要な試験品の加工などを提供しています。デジタル化に関しては、主にホームページ(以下、HP)を活用した販路拡大と、生産管理ソフトなどを使った業務の効率化に取り組んでいます。

● **國廣さん** フルハートジャパンでは、計測制御をメインとした産業設備向け装置の設計から製造までを行っています。また、大田区の仲間と技術・経験を補完し合ってより大きなソリューションを提供できるよう、2018年6月にI-OTA合同会社を設立しました。デジタルについては効率

● **波田野さん** 弊社の創業はコロナ禍の2020年です。私は元々、家業の溶接工場で働いていました。梅屋敷駅の高架下にある創業支援施設「梅森プラットフォーム」に関わりを持たせていただいたところ、アーティストやプロダクトデザイナーの方とも知り合うことができました。オンラインコミュニケーションツールを活用して多くの方と関わることができたら良いと考えて活動しています。

● **広瀬会長** 伊和起ゲージは今年で創業60年になります。当初から精密部品加工を手掛けており、現在はボールねじという主に半導体の製造機械の駆動に使われる部品の製造販売を大田区で唯一展開しています。

顧客に合わせたHPで新規を獲得 ネットワークで優位性を高める

● **司会** 皆さんの会社では、ユーザーニーズ収集やネットワーク構築においてデジタル技術をどのように活用されていますか。

● **尾針さん** 弊社の場合、展示会では自社の技術を見える化させることが難しく、なかなかお客様をつかまえることができませんでした。ところがHPを立ち上げたところ、想像以上に見てもらっていることが分かり、機能を加えると、どのページが見られているのかも明らかになりました。そこで、お客様に合わせて研究者の方が検索するような専門用語を散りばめていくと、アクセス数がどんどん伸びるだけでなく問い合わせも来るようになりました。結果として毎年30社以上の新規顧客を獲得できています。

● **國廣さん** ネットワーク構築が必要だと思った理由は2つあります。1つは、受託開発や受託加工をしていると自社の技術の優位性をアピールすることができず、付加価値が低

くなってしまうこと。2つ目は、シンプルに受注を断りたくないということです。せっかく来た仕事を一旦断ってしまったら、もう二度と来なくなってしまうと思うんです。でもそれは、お客さんのニーズに必要なリソースが自社だけでは足りないからであって、大田区というブランドでの経験と技術があれば、大手一社の技術部門よりもはるかに上のレベルになります。それなら皆でチームを組んでやっていけば良いという考えの下で、I-OTAのメンバーと共に活動しています。



國廣 愛彦 氏
I-OTA合同会社
株式会社フルハートジャパン

自ら PR することの大切さを実感

● **司 会** SNSなどによる情報発信についてはいかがですか？

● **波田野さん** 自分たちの仕事内容をアーティストや地域の方に向けて分かりやすく発信しています。まさに SNS 一人オープンファクトリーみたいな感じでやっているようにして、誰からも声をかけてもらいやすいようにしました。すると、実は名前は隠しているけれど普段はアート活動をしているという人から相談のお問い合わせがありました。その方は、日頃から私のツイッターを見てくれたそうです。2020年に創業し、知名度も低い中で皆さんから指名を得るためには、やはり自分から発信して存在を知ってもらうことが大事だと実感しています。フェイスブックに関しては、実際にお会いしたことがあったり、事実上お付き合いをしている方から気軽にお見積りの話な

どをいただいています。

データの一括管理によるメリット 異業種との交流で情報量を増やす

● **司 会** デジタル化に加えてペーパーレス、情報共有など、今ホットになっているツールについて教えてください。

● **広瀬会長** 製造工程の中で必ず図面に書かれた寸法を検査しますので、その精度と持続性を見える化して、得意先に渡すとお客さんが信用してくれます。しかし、その反面、我々のノウハウを流してしまうことになるので、難しさも感じています。ですから見える化にもバランスがあって、全ては見せるべきではないと思います。また先日の後援会で聞いたところによると、ある旅館の女将さんは経営に関する一つ一つのデータを Excel など色々なソフトで入力していたが、その全てを統合できるものを作ったそうです。それに比べると当社は少し遅れているので、これからは皆で活用できるデータは共有し、個々の持っているデータはそれぞれでというように、住み分けをしながら活用できれば良いと考えています。

● **尾針さん** 弊社も今のお話に出た旅館と同じ「Salesforce」という顧客管理ツールを使っておりますが、Salesforceでは使い方大会のようなものが毎年定期的に行われており、そこから学び合えるのもメリットになっています。そこに着想を得て、デジタルツールの情報交換ができるグループを作りました。それが、寄り添い合いの頭文字を取った「YSAi」です。例えば、経理などのバックオフィスは、異業種であっても似ている部分があると思います。YSAiはそうした情報共有が目的で、個社が調べたことを他社に教えてあげれば、10社が10社バラバラに探し合うよりも、皆の情報を持ち合うことで10倍の情報量になります。

若手社員による IT 化の推進 デジタルツールで信用を確保

● **司 会** 人材育成として、社員が自らデジタル化に対応できるようなことにも取り組んでおられるのでしょうか。また、デジタル化して良かったことがありましたら教えてください。

● **國廣さん** 最近、社員教育の一環として、Webサイトなどをプログラミングなしで開発できる「ノーコードツール」と、ITシステムの運用管理を自動化する「RPA」というツールを取り入れました。これまで紙面上で行っていた作業を様々な IT ツールデータに変え、それらをロボットを活用してデータを自動的に有効活用し、効率化することの楽しさを学んで欲しかったからです。若手の社員にツールの使い方を理解させて、各部署で一人でもそういったものができるようになれば、全ての RPA 化業務を外注するよりも安価に IT 化できると考えています。

● **広瀬会長** 当社が行っている研磨は、 μ (マイクロメートル)単位になると機械などの条件次第ですぐに寸法を外してしまうことがあります。そのため測ったものが Wi-Fi でパソコンに落とし込めるツールを使用しているのですが、Wi-Fi がうまくつながないと結局全部やり直しになります。それでも一進一退で繰り返し行って測定システムが安定し、結果として得意先から「御社の製品は受入れて測らなくても良いですね」と信用してもらえると嬉しいです。

IT とアナログの併用が理想的？！

● **司 会** 社内コミュニケーションの面ではどのようにデジタルツールを活用していますか？

● **波田野さん** 話題ごとに部屋を分けられる無料のチャットツール「Slack」を使っています。業務的な連絡だけでなく、例えば週末に子どもと遊んだという雑談でも、その方の人間性の一面が見えて、お仕事もスムーズに運ぶことがあります。また一方で、図面を PC に保存して活用することを考えたのですが、作業

の現場では紙にメモした方が煩雑ではないということがありました。ITも大事ですが、アナログの良い部分も残しながら上手く併用していくのが一番いいのではないかと考えています。

● **尾針さん** 社内では LINEの業務用版でカレンダーの共有とチャットを主に使っています。中でもチャットは、口下手な人でも上手にコミュニケーションがとれるし、記録として残すこともできるので、指示したことをお互いに確認できるのもメリットです。



尾針 徹治氏
ムソー工業株式会社

サイバーセキュリティ対策に力を

● **司 会** サイバーセキュリティについては、どのような対策や考えをお持ちですか？

● **広瀬会長** 工連として見ると、セキュリティについての認知度に温度差が各社であり、なかなか広がりません。また、個々で取引されている事務機器会社などで別々に取り組まれていることが多いようです。そのため、推奨する企業で一括してセキュリティを一定水準のところまで上げてもらい、そこから先は個々で行っていただくようなことを活動の指針にして取り組んでいます。

● **尾針さん** 弊社は複数のセキュリティ機能を一元化させた「UTM」を導入しているので、サイバー攻撃は遮断しているはずなのにメールがダウンしてしまいました。その理由は、単純に迷惑メールを大量に送り付けられたからでした。サイバーセキュリティは素人には難しいので、例えば

組合ごとに詳しい人材を確保していただいて、困った時にすぐ相談できる環境を作っていただくと有難いと思っています。

● **広瀬会長** 工連でも UTM機器の設置など、万一トラブルがあった時にもセキュリティ担当が対応できるところまでメーカーさんと交渉しています。

● **國廣さん** それは有難いですね。やはり一社でやると経済的な負担が大きいので、I-OTAでもセキュリティツールを皆で共同購入できたり、有識者や士業の人たちに低料金で相談できる仕組みができれば良いと考えています。

無意識に DX化されていることも

● **司 会** ところで、本日のお題は D(デジタル化)ではなく、それに X(トランスフォーメーション) が付いた「DX」です。単純にデジタル化で業務を効率化させるだけでなく、企業変革やビジネスを新しく生み出すといったことも含めて、展望やご意見をお聞かせください。

● **國廣さん** 例えば波田野さんが手がけた溶接をもう少し IT化させて「このデータがあればできる」というようにすれば、波田野さんのパート2 や3を育てて、アフリカに支店を作るといったことも可能になるのではないのでしょうか。そういうところにビジネスチャンスはあるのかなと思っています。また、職人は皆、腕がある、経験がある、背中を見て技術を覚えれば良いなどと言いますが、やはり自分でやってみなければ分からないと思うんです。そうした時に、ITを使ってある程度のところまで数値化することができれば、技術を1から覚えなくても良いし、習熟度も早いと思います。我々は製造業をしているからこそ、ITを駆使して生産性を向上させるビジネスをするべきなのかなと思います。

● **波田野さん** 今、國廣さんのお話を聞いて、技術を伝承するという教育において ITを上手く組むことで、

また新しいビジネスチャンスが生まれるということに気づきました。勉強になりました。

● **広瀬会長** うちはまだ、意外とアナログなんですけど、ITを使えば良いことや、その重要性は理解しています。そして皆さんのお話にもあったように、一つ一つではなく、全体的につなげると相当大きなメリットがあると感じています。



広瀬 安宏氏
株式会社伊和起ゲージ
一般社団法人大田工業連合会

● **尾針さん** 広瀬さんは謙遜してそうおっしゃいますが、検査の部分が見える化することで、お客さんから「検査証はいらない」と言われているということは、すでに DXをされているのではないかと思います。また波田野さんも、ご自身の溶接加工の良いところをどんどん発信されていらっしゃると思いますので、それが大きな価値になっていると思います。

● **司 会** 意識はしていないけれども企業価値向上のためにデジタル技術を効果的に活用されていると私も感じました。我々も今後、区内企業の皆様の DX化のご支援を積極的に取り組んでいきたいと思っています。大田区では、大田区産業振興協会、区内企業と連携して、デジタル受発注プラットフォームを構築していますので、こちらも是非ご活用ください。本日はありがとうございました。

誌面に収めきれなかった濃密な
座談会の内容は WEB
版に掲載しています。



topic

令和4年度「卓越した技能者(現代の名工)」を 朴栄光氏が受賞!



イービーエム株式会社 (大田区大森南 4-6-15 テクノ FRONT 森ヶ崎)
代表取締役 朴 栄光 (コンベンションエンジニア)

同事業は、厚生労働省が卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的とした事業です。朴氏は、「大田の工匠 Next Generation」に選出され、令和2年度「大田区中小企業新製品・新技術コンクール」では優秀賞を受賞するなど数々の実績を挙げています。今回は、昨年度の「東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞」の受賞に続く快挙となりました。

受賞につながった取組

同氏は、医工学の豊富な知見を有し、冠動脈バイパス手術の訓練シミュレータを開発しました。その独自性、希少性の高い技術・技能は医学界の発展に多大な貢献をしています。

また、令和3年度には、羽田イノベーションシティに臨床工学技士の訓練施設を開設し、場所にとらわれずリモートで実技訓練できる環境を整備するなど、後進への指導・育成についても高く評価されています。



朴 栄光氏
イービーエム株式会社 代表取締役
<https://ebmc.jp/>
03-5737-2884
令和3年度
「東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞」

お問い合わせ

(公財)大田区産業振興協会
プロモーションセクション
TEL : 03-3733-6476
E mail : planning-pr@pio-ota.jp

topic

令和4年度「東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞」を 株式会社酒井製作所が受賞!



株式会社酒井製作所 (大田区矢口 3-10-9)
代表取締役社長 酒井 俊一



株式会社酒井製作所
業務内容 装置製作・開発
代表取締役 酒井 俊一
<https://www.sakaiwork.jp/>
03-5741-5011
令和3年度 大田区「優工場」総合部門賞

株式会社酒井製作所(大田区矢口)が「東京都中小企業技能人材育成大賞」の「奨励賞」を受賞しました。同表彰事業は平成16年度から東京都が実施しており、中小企業における技能者の人材育成を通じて競争力ある産業を築くことを目的とした事業です。7年連続で大田「優工場」から受賞企業を輩出する快挙となりました。

受賞につながった取組

同社は、若手社員に経験豊富な指導者を付ける社内メンター制度を採り入れ、個別研修や様々な技能講習に力を入れ、社会貢献できる人間性とスキルの向上を図っています。

また、社員間の相互理解と連携強化を図るためにあらゆる社員の取組みを評価できるよう「社員間の相互評価制度」を設け、毎月社員投票による月間MVP表彰やアンケートを実施するなど、前向きに仕事ができる組織づくりが評価され受賞しました。

お問い合わせ

(公財)大田区産業振興協会
プロモーションセクション
TEL : 03-3733-6476
E mail : planning-pr@pio-ota.jp



大田区産業振興協会では、区内企業の海外取引の拡大を促進していくため、令和4年9月にタイとベトナムのFBCアセアンものづくり商談会、11月に台湾のMeet Taipei2022にオンライン出展をしました。

各オンライン見本市で大田区の製造業や区内企業のサンプル品などを紹介しました。

このような見本市出展をはじめ、当協会では海外展開に関する取り組みを行っている他、海外支援機関との情報交換を行っています。

是非ともお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

(公財)大田区産業振興協会
経営支援セクション 取引拡大チーム
TEL 03-3733-6126

E-mail

kaigai@pio-ota.jp

ホームページ

<https://www.pio-ota.jp/trade-expansion/product/exhibitorsupport.html>



オンライン出展した見本市

| 見本市名 | 開催地 | 時期 | 共同出展した区内企業 |
|-------------------------|------------|-------------|----------------|
| FBCアセアン2022 ものづくり商談会 | タイ ベトナム | 9/7~9/9 | 4社 |
| Meet Taipei2022 | 台湾 | 11/17~11/19 | 当協会による 単独出展 |

Meet New Solution in OTA (Next おおた工業フェア) 開催のお知らせ

Meet New Solution in OTA (Next おおた工業フェア)は、「脱炭素」、「DX」、「ライフサイエンス」などの社会的課題の解決をキーワードに、「おおた工業フェア」を発展させたものです。初開催となる今回は、東京ビッグサイトで開催される、「地球環境とエネルギーの調和展 ENEX2023」のフェアインフェアとして開催します。その他多数の併催展も同時にご覧になれる貴重な機会です。

大田企業が提供する社会的課題へのソリューションや提供や新しい価値創造と出会うことができる展示会です。是非お越しください。

日 時

2月1~3日 10:00~17:00

場 所

東京ビッグサイト 東4ホール

お問い合わせ

(公財) 大田区産業振興協会 取引拡大チーム
TEL 03-3733-6126

E-mail

torisoku@pio-ota.jp

人手不足の企業、必見! その仕事は+WORK(内職)で!



※「内職あっせん・相談」事業は、令和4年10月から事業名を「+WORK」に変更しました。

手作業・単純作業を区内在住の内職希望者に任せてみませんか?
区内の中小事業者様に、即戦力となる人材を無料で紹介しています。
急な作業が発生した時だけでも、長期間でもご利用可能です。
この機会にぜひ、お気軽にご相談ください。

申込方法

電話またはホームページからお問合せください。

お問い合わせ

(公財) 大田区産業振興協会 地域人材セクション
+WORK (旧 内職) 相談窓口
TEL 03-3733-6109

E-mail

pio-naishoku@pio-ota.jp

ホームページ

<https://www.pio-ota.jp/human-resources/naishoku.html>



ご活用ください! 会社を元気にする多くの支援事業

楽しいレジャーが盛りだくさん

勤労者共済に加入すると、東京ディズニーリゾート等の割引や潮干狩り・釣り・ゴルフ等各種レジャーの補助を受けられます。映画券は大人1枚1,000円です。

対象 1.大田区内の工場・商店・事務所などの中小企業で働く事業主と従業員
2.大田区内に居住し、区外の中小企業で働く従業員

入会金 200円/人 **会費** 月額500円/人

申込方法 必要書類は、勤労者共済HPで入会申込書等をダウンロード又は窓口で入手

お問い合わせ (公財)大田区産業振興協会 勤労者支援チーム
TEL : 03-3733-6107
FAX : 03-3733-6122
E-mail kinro@pio-ota.jp
<https://otakyouysai.zenpuku.or.jp/>



1月は固定資産税(償却資産)の申告月です(23区内)

令和5年1月1日現在、23区内に償却資産を所有している方は、申告が必要です。令和5年1月31日までに、資産が所在する区にある都税事務所に申告してください。電子申告(eLTAX)もご利用になれます。

お問い合わせ 大田都税事務所
TEL : 03-3733-2411
eLTAXホームページの「よくあるご質問」をご確認ください。



東京信用保証協会のご案内

東京信用保証協会は、中小企業の皆さまが金融機関から事業資金をお借入する際、保証人となることで資金調達をスムーズにする役割を担う公的機関です。

【信用保証協会ご利用のメリット】

- 無担保での利用が可能です。
- ニーズに応じた資金調達が可能です。
- 様々な経営支援メニューのご利用が可能です。

お問い合わせ 東京信用保証協会 大田支店
TEL : 03-5710-3610
<https://www.cgc-tokyo.or.jp>



新入社員セミナー

大田区と一般社団法人大田工業連合会が主催する新入社員研修です。経営者の皆様にかわり、会社の発展に必要な新入社員人材の育成を行います。新入社員研修受講者様向けに、半年後フォローアップ研修を行います。ぜひ、新入社員の皆様のご受講をご検討下さい。

対象 今春学校等を卒業し、区内の工業系企業に就職する方。(経験者採用の方も歓迎)
※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

時期 【新入社員セミナー】令和5年5月10日(水)、11日(木)、12日(金) 3日間(9:30~16:30)
【フォローアップセミナー】令和5年11月17日(金)(13:00~17:00)

会場 大田区産業プラザPiO 6階C会議室

受講料 ≪新入社員セミナーのみ≫1名あたり:
会員価格:13,000円/非会員15,000円(昼食付、教材費等込)
≪新入社員セミナープラス、フォローアップ研修≫1名あたり:
会員価格:16,000円/非会員19,000円(教材費等込み)
※フォローアップ研修には昼食は付きません。

定員 40名(抽選制) **申込〆切** 令和5年4月7日(金)

申込方法 専用の応募用紙にてお申込み下さい。
応募用紙は大田工業連合会(TEL3737-0797)にお問合せの上入手して下さい。
※申込は下記ホームページから行えます。

お問い合わせ (一社)大田工業連合会
〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ内
TEL : 03-3737-0797
FAX : 03-3737-0799
E-mail : office@ootakoren.com
<https://ootakoren.com/>

▼こちらからも



ものづくり工場立地助成の拡充

R4.4.1~対象経費の合計額を50万円に拡充しました。

助成率:1/3

助成額の上限:1,000万円

対象事業:工場の新增築、移転、付帯設備の改修等

対象経費:50万円以上

対象 3年以上継続して同一の業種を営む中小企業者(製造業)

時期 対象経費が50万円以上となるのは、令和5年3月31日までの申請に限ります。

留意事項 ・申請の前に必ずお問い合わせ先にご連絡ください。
・すでに実施したものや契約したものは対象外です。

申込方法 問い合わせ先にお電話ください。

お問い合わせ 一般財団法人日本立地センター
TEL : 03-3518-8966
<https://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/kogyo/joseikin/ricchijosein.html>



実践汎用旋盤・フライス盤講座[初級](1回目)

選択式で汎用旋盤またはフライス盤の基礎を学びます。旋盤またはフライス盤のどちらをご希望が明記の上、お申し込みください。

対象 金属加工業や機械工業に従事し、業務上汎用旋盤・フライス盤の技能を必要とする方
※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

時期 令和5年4月8日、15日、22日(毎土曜日3日間)
講座時間:9:15~16:30

会場 東京都立城南職業能力開発センター大田校
大田区羽田旭町10-11

定員 10名(抽選制)(汎用旋盤5名・フライス盤5名)

受講料 会員価格:3,000円(教材費等込) 非会員:4,000円(教材費等込)

申込〆切 令和5年2月28日(火)

申込方法 専用の応募用紙にてお申込み下さい。
応募用紙は大田工業連合会(TEL3737-0797)にお問合せの上入手して下さい。
※申込は下記ホームページから行えます。

お問い合わせ (一社)大田工業連合会
〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ内
TEL : 03-3737-0797
FAX : 03-3737-0799
E-mail : office@ootakoren.com
<https://ootakoren.com/>

▼こちらからも



キャリアアップ講習・2月募集

東京都では、主に中小企業で働いている方を対象に、スキルアップのための短期講習を行っています。

対象 現在、中小企業で働いている方で、都内に在住または在勤の方

時期 2月1日(水)~2月10日(金)必着

機械図面の見方とCAD製図①、3次元CAD(AutoCAD)、はじめての機械系基礎訓練 他2講座
※詳細は大田校ホームページ参照。

申込方法 インターネット(電子申請)・往復はがき・FAX(やむを得ない場合のみ)のいずれかにて、募集期間内に、お申込みください。(電話によるお申込みはできません。)

お問い合わせ 東京都立城南職業能力開発センター大田校
キャリアアップ講習担当
TEL : 03-3744-1013
https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/zaisyokusha-kunren/carr_up/index.html



個人情報の取り扱いについて

公益財団法人大田区産業振興協会(以下、当協会)は、各セミナー等へのお申し込みの際に提出された個人情報について、以下の目的以外に利用することはありません。

- 当協会の催す関連事業(各種セミナー・展示会・講演会等)の運営に必要な範囲内での利用(参加者への連絡等)

第34回大田区中小企業 新製品・新技術コンクール入賞企業一覧

お問い合わせ

(公財)大田区産業振興協会
イノベーションチーム

TEL 03-3733-6294 E-mail innovation@pio-ota.jp

URL <https://www.pio-ota.jp/news/2022/10/34th-award.html>

最優秀賞

テック大洋工業株式会社

独立電源式大型動物の自動給餌装置

動物園の大型飼育動物の福祉を向上させる、
クリーンエネルギーを利用した屋外自動給
餌装置



大田区蒲田4-22-8
<https://www.ttkk.co.jp>



優秀賞

株式会社OUTSENSE

サーフェス形状探索システム「ORIFACE」

「折り工学」を用いて、機能と製造を考慮した
サーフェス形状最適化を実現



大田区大森南4-6-15
テクノフロント森ヶ崎406
<https://outsense.jp/>



優秀賞

株式会社グーテンベルク

超高速FFF式3DプリンターG-ZERO

高速3DプリントによりモノづくりのPDCAサ
イクルを加速。多品種材料で用途に合わせ
たモノづくりに



大田区南蒲田2-19-4
kyokutou3F
<https://gutenberg.co.jp/>



奨励賞

株式会社瀧口製作所

屋内外対応 人流把握
カメラカウンターシステム

人の流れをカウント 密となる状況を予測
し、安心・安全の見える化を実現



大田区蒲田1-23-20
<http://www.takiguchi.co.jp>



奨励賞

関西電子株式会社

廃PETボトルの新たな活用法
「ボトリウム・ナノファイバー」

廃PETボトルが新素材「ナノファイバー」へ。
廃PETボトルの新たなビジネスを創出



大田区大森南4-6-15
テクノフロント森ヶ崎208・509
<https://www.kansaidenshi.co.jp/>



おおたECO推進賞(奨励賞)

デザインアンドイノベーション株式会社

薄さ0.04mmの炭素繊維
一方向性シート材「AIフィルム」

木材の割裂を防止し木造インフラの安全性
向上に大きく貢献



大田区上池台5-24-14
<https://www.dandi.co.com>



おおた秀逸技能賞(奨励賞)

有限会社大野精機

クーラント噴射装置「クールミスター」
切削部へ直接ジェットミストで給油と冷却。
切粉を内部から吹き飛ばす強力噴射!



大田区大森西7-5-35
<https://ohnoseiki.com>



おおたネットワーク賞(奨励賞)

日本電波株式会社

電波時計レピータ NAR-40P/NAR-40C

時計の時刻が合わず困っている方へ
工場・事務所向け時刻合わせ装置



大田区多摩川2-15-12
<https://www.nippa.co.jp/>



おおたスタートアップ応援賞(奨励賞)

株式会社CyberneX

イヤホン型Brain Computer Interface技術
“Ear Brain Interface”技術の開発

イヤホンで脳情報にアクセスすることで、自
分自身を深く理解しウェルビーイングな社会
を作ることに大きく貢献



大田区蒲田5-26-8
アーデル蒲田1107号室
<https://cybernex.co.jp/>



大田区産業振興協会からのお知らせ

引越しや移転等によりご住所が変更となっている場合または配送停止をご希望の場合は、
お手数をかけたいしますが、下記までご連絡ください。

連絡先 プロモーションチーム TEL : 03-3733-6476 Email : planning-pr@pio-ota.jp